

あるのちやんねる





病院の理念

救急から在宅まで、地域の医療を守り支える病院を目指します。

病院の方針

【地域連携】医療・介護・福祉が一体となった切れ目のない医療サービスを提供し、 地域医療の充実に努めます。

【救急医療】断らない救急医療を目指します。

【予防医学】健康診断を推進し、病気の予防・早期発見に努めます。

【チーム医療】患者さん中心のチーム医療を実践し、安全・安心で質の高い医療の提供に努めます。 【人材育成】次代の医療を担う信頼される人材の育成に努めます。



視能訓練士だからできる 高精度な検査

「視能訓練士」という職業をご存じない方が多いかもしれません。私たちは国家資格を持った医療技術者で、視機能検査と視能矯正のエキスパート。眼科領域において質の高い医療を提供するために、欠かせない存在です。

眼科には目の不調を訴える患者さんが多く来院されます。「見えづらい」「目が痛い」「まぶしい」など、皆さんの中にもそんな不調を感じている方がいらっしゃるのではないでしょうか。視能訓練士はまず患者さんが訴える症状をヒアリングしてから視力検査や視野検査、眼底画像検査など必要な検査を行い、データを取得します。医師は私たちが取ったデータを基に診断を行い、治療や手術の方針を決定していくため、高精度なデータが求められます。当院の眼科には私たち5名の視能訓練士が在籍しており、知識と技術を共有しています。目の不調の感じ方、表現の仕方は

人それぞれですし、原因も違います。もちろん、最終的な診断をくだすのは医師ですが、そこにたどりつくまでの情報を精査するのが私たちの役目です。5名という人数の多さは経験値が5倍になる分、知識を集結させることで検査結果の精度がより高まります。

適切な検査をするために、最初の問診は大切です。 どんな不調があるのか、しっかりお話をお伺いしますし、 患者さんの心の支えにもなりたいと思っています。思 わぬところに原因が隠れていることもあるので、些細 な変化や不安も遠慮せずにお話ください。

3歳児眼科健診で 「見る機能」を育てる

幼いお子さんをお持ちの方は、その目の状態をチェックしてください。生まれたばかりの赤ちゃんはものをぼんやりと見ていますが、成長とともに視覚が発達し、視力も大人と同じくらいの数値に育っていきます。視覚や両眼視(両眼を使って、遠近感や立体感が分かる

力)が発達する「視覚感受性期」は乳幼児期に限られており、その時期を逃してしまうと、大きくなってから治療を始めてもうまく視覚を成長させられないことがあります。「うちの子は、よく見えていると言っているから大丈夫」と思われる方もいますが、お子さんにとって「ぼんやり見える」状態が当たり前になっていると、自分でも不都合に気づいていないことがあります。また、就学時健診で見る機能の問題を指摘されても、治療が難しい場合もありますので、3歳児の眼科健診はとても大切です。

当院の眼科では30年ほど前から、保育園での乳幼児眼科健診・3歳児眼科健診を行っています。年に数回、視能訓練士が地域の保育園へ伺い、お子さんたちの目の状態を検査しています。もし、視力などに異常が見つかれば、保護者の皆さんへ眼科の受診をおすすめする案内状をお渡ししています。



教師・ロービジョン相談員と連携し、 盲学校の教育体制を整える

視能訓練士の役割のひとつに、盲学校での支援活動があります。盲学校では視覚的情報を全く得られない全盲の子どもや、何らかの原因で視覚障害を持ったロービジョン(視覚障害により生活に支障をきたしている状態)の生徒が学んでいます。ひとくくりにロービジョンと言っても見えづらさは異なり、例えば、授業の時に顔が一定の方向に傾いたり、体勢がつらそうだったり、何らかの不都合を感じていることが少なくありません。私たちは授業を見学することで、生徒一人ひとりの見え方を感じ取り、拡大鏡などの補助具や座る位置の提案をするなど、少しでもストレスを減らす工夫をします。盲学校の教師、ロービジョン相談員、視能訓練士の3者が垣根を超えて情報を共有す

ることで、それぞれの生徒に合った教育環境を整えています。私たちは教育者ではありませんが、思いは教師と同じで、生徒たちが視覚障害を乗り越え、幸せな人生を歩んでほしいという気持ちでサポートをしています。

ロービジョンケアは子どもだけではなく、大人の方も対象です。来院される視覚障害をお持ちの患者さんに視能訓練をしたり、補助具の提案をしたりしています。本や新聞が読みづらいといった方には、文字を大きく映し出す拡大読書器がありますので、ご相談ください。

「もう、年だから」とあきらめず、 目の不調があれば眼科へ

当院の眼科には3名の医師がおり、それぞれに得意分野を持っています。医師たちは視能訓練士の技術を活用し、連携することで質の高い医療を提供しています。

私たちはこれまで多くの方に目の検査や矯正の提案をしてきました。その中には、「孫の結婚式をしっかり目に焼き付けたいので、視力を矯正したい」という80代の方もいらっしゃって、心に残っています。ご高齢の方は「もう年だから、これぐらいの不調は仕方がない」とあきらめがちですが、目に不調を感じたら些細なことでも放置せずに眼科を受診してください。生活の質を少しでも上げられるよう情報提供やサポートを行います。

当院の眼科外来は入口のドアがいつもオープンになっています。これは見えづらい患者さんがドアにぶつからないための工夫なのですが、親しみやすい雰囲気を感じていただくためでもあります。笑顔の対応を心掛けていますので、お気軽にご相談ください。



PICK UP! 外来紹介 眼科外来



当科は、眼科医3名と視能訓練士5名が在籍し、連携しながら精度の高い医療を 提供しています。白内障手術、斜視手術、眼瞼手術、緑内障手術、後発白内障手術、 硝子体手術では他院からの紹介患者さんを含め、多くの患者さんを受け入れており、 経験豊富な医師が執刀しています。その他にもさまざまな眼の疾患を診断・治療し ておりますので、お気軽にご相談ください。



40歳を過ぎたら、「緑内障」「白内障」「糖尿病網膜症」の検査を!

稳文度とは

緑内障は、眼圧の上昇などによって眼球の後ろにある視神経が傷つき、視野が欠けていく病気です。 しかし、網膜神経細胞の強さは人によって異なるため、眼圧が正常でも緑内障になる方はたくさんおり、 日本人の大半は眼圧が正常値の正常眼圧緑内障です。初期には症状がなく、知らないうちに進行する ため、不調がなくても検査を受けましょう。

自负贷とは

目の中で、レンズのような役割を果たす水晶体という組織が白濁すると、視力が低下してきます。また、 [視界がかすむ] [光がまぶしい] [夕方になると見えづらい] といった症状が出てきます。水晶体が白 濁する主な理由は加齢で、80代ではほとんどの人にその症状があらわれます。40代で発症する人も いるため、40歳を過ぎたら検査を受けましょう。

糖尿病は緑内障や白内障といった目の病気の原因になります。中でも、目の奥にある網膜に損傷が 生じる糖尿病網膜症は糖尿病の三大合併症のひとつで、失明に至ることがあります。失明を防ぐため には早期発見、早期治療が大切です。糖尿病を発症後、数年から10年以上経過して発症することが多 いため、糖尿病の方は主治医と相談しながら定期的に検査を受けましょう。

生活習慣を見直そう!目の健康アドバイス

毎日、無意識に目を酷使していませんか? 視力の低下や目の病気を防ぐため、生活習慣を見直しましょう。

- デジタル端末に**目を近づけすぎない**ようにしましょう。
- 長時間、デジタル端末を見続けない。デジタル端末を20分間見続けたら、20秒間、 6mほど遠くを見るか、目を閉じて休みましょう。
- 未就学児のお子さんが使うなら、スマートフォンより字が大きく表示されるタブレット端末が おすすめです。
 - また、人間関係を形成する時期でもありますので、デジタル端末が友達とならないよう、人との コミュニケーションがとれる状態を促してあげましょう。
- 自分に合った眼鏡を使いましょう。パソコン作業用、運転用など、生活のシーンによって いくつかの眼鏡を使い分けると、目のストレスが減り、眼精疲労を防止できます。

受付時間 眼科外来 **<月~土>8:30~11:00** 第2土曜は休診

連携登録医のご紹介

今回は、河北郡津幡町の

『いこま眼科医院』を紹介いたします。

津幡町でいこま眼科医院を開業しております生駒 尚秀と申します。

昭和 37 年より当地に父が産婦人科を開業しており ましたが、平成8年に眼科を併設、平成11年より眼 科単科の院長となりました。

浅ノ川総合病院眼科様には当院開業以来 28 年間 大変お世話になっております。

特に網膜剥離や網膜前膜などの硝子体手術には迅 速に対応していただき感謝いたしております。浅ノ川 総合病院様が紹介受診重点医療機関になられて、病 状の安定した当院近隣の患者様を多数、逆紹介いた だいております。紹介いただいた患者様は今後もしっ かりと診させていただきます。

当院では特に緑内障の早期発見と治療に力を入れ ております。今後も最新医療に対する日々の研鑽と ともに開業当初の初心を忘れず、患者様の眼の症状 や悩みに共感できる医師であり続けたいと思っており ます。



クリニック外観



尚秀先生 院長生駒

📦 いこま眼科医院

診療科:眼科 所属学会:医学博士

日本眼科学会専門医

金沢医科大学眼科学非常勤講師

歴:金沢医科大学大学院卒業

公立宇出津病院勤務

金沢医科大学眼科学講師を経て

いこま眼科医院開業

診療時間

	月	火	水	木	金	土	B
9:00~12:30	0	0	0	0	0	0	/
14:30~18:00	0	0	0	/	0	/	/

休診日: 木曜午後、土曜午後、日、祝祭日

所:〒929-0323

石川県河北郡津幡町字津幡二 522 番地

話:076-289-4175 F A X:076-289-4176

駐 車 場:あり

アクセス:IR 七尾線 中津幡駅



連携登録医とは

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して開始された 「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

検査部トピックス 脂質の話

一般的に脂質と言われるのは主にコレステロールと中性脂肪です。

これらは脳・神経の機能を保ち、肌・髪の健康を維持し、血液やホルモンの 材料になり、エネルギー源として利用される等身体を作っていく為には欠 かせない成分です。

血液中のコレステロールには**LDLコレステロール**と**HDLコレステロール**があります。

肝臓で作られたコレステロールを全身に運ぶ働きがあり増えすぎると 動脈硬化を起こす為 [悪玉コレステロール] と言われています。

HDL I LZ FO-JL

余剰なコレステロールを回収し肝臓に戻す働きから血管内の掃除役とされ、「善玉コレステロール」といわれています。

单性脂肪

食事等から摂取されエネルギーとして利用されますが余った場合、皮下 脂肪や内臓脂肪として蓄積されます。

種々の原因で脂質の各成分のバランスが崩れた状態を脂質異常といいます。脂質異常自体、自覚症状はありませんが動脈硬化を引き起こす原因になります。

怖いのは動脈硬化のその先にある副作用(合併症) です。

高血圧や、脳梗塞などの脳血管障害、心筋梗塞や狭 心症等の虚血性心疾患を引き起こすこともある為、 早めの対策が必要です。

脂質異常は生活習慣の乱れによって起こることが 多いですが遺伝による場合もあります。

生活習慣を改善することが治療であり、進行を遅らせる手段です。

脂質





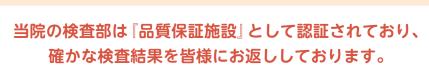




どんなことから始めたらいいの?

- **塩分を控えめに**しましょう(塩分の摂りすぎは動脈硬化を進行させます)
- **運動習慣**を身につけましょう(運動はHDLコレステロールを増加させ中性脂肪を減少させます)
- 適正体重を維持しましょう(肥満の方は体内の脂肪を減らしましょう。 特に内臓脂肪の蓄積は生活習慣病を悪化させます)
- 禁煙しましょう(喫煙は血管を傷つけて動脈硬化を確実に進行させます)

出来ることから少しずつ始めましょう



がんサロン せせらぎ 運営部会の活動について

当院のがんサロン部会は2015年3月に発足し、月1回開催のがん サロン『せせらぎ』を同年開設致しました。『せせらぎ』は多職種相談 会の他に、ミニ講座、コンサート、ストレッチ体操、アロマハンドマッ サージなどのイベントをおりこみ、がん患者さんやそのご家族に 少しでも楽しんで頂けるように工夫しながら、2019年12月までに 52回の開催を続けて参りました。その後、コロナ禍のため活動を 休止しておりましたが、2024年7月4日に53回目の『せせらぎ』を 再開致しました。

以前より、上記のようなイベント内容に加え、がん患者やそのご家 族が多職種スタッフと語り合える場としてのサロンを作りたいと考え ておりました。そしてこのたび準備が整い、がんサロンせせらぎを 改めて開設するに至りました。今後イベントは時折開催し、以下の 内容を主体とする方針にしたいと考えています。

がんサロンは不安や悩みなど、気軽に語り合う場です。お話する ことで、気持ちが軽くなったり、力が湧いてきたりすることがあります。 当院通院歴は問いません。どうぞお気軽にご参加ください。







・がんサロン『せせらぎ』・

開催日時:13:30~14:30(第2.4木曜日)

※祝日、盆休、年末年始は除く

場 所:がん相談支援・医療福祉相談室前

※本館1階インフォメーションでお声がけください

容:多職種で構成するがんサロン部会のスタッフが、 内

当番制で日頃の不安や疑問、相談などに応じます。

スケジュール:ホームページ(イベント案内)、院内掲示をご参照

ください。

お問い合わせ:がん相談支援室



▶各職種の相談内容等

医師・・・・・消化器外科医師。がんを始め様々な疾患に関する治療全般について

看護師・・・・・・がん性疼痛看護認定看護師。がんとの向き合い方、病気や症状、副作用について

薬剤師・・・・・・お薬全般や健康食品などについて

管理栄養士・・・・食事、栄養について

理学療法士……運動について

社会福祉士・・・・介護やお金のこと、社会保障制度の利用について

がんサロン運営部会長 外科 尾島 英介

新任医師紹介

今年10月に赴任された 医師を紹介します!







内科

ほりた まこと 堀田 直琴

丁寧な診療を心がけます。地域医療 に貢献できるように頑張ります。よろ しくお願いします。

専門分野/腎臓、リウマチ膠原病内科



内科

地域の皆様がより良い生活を送れる よう頑張ります。よろしくお願いしま

あきひろ

章宏

専門分野/消化器内科



内科

すみと ながえ 長江 澄人

患者さんへより良い医療を提供し、患者 さんと家族が満足して頂けるように 努力してまいります。

専門分野/呼吸器内科

日帰り人間ドック 期間限定割引の ご案内



毎年ご好評いただいております、日帰り人間ドックの期間限定割引を今年も実施いた します。是非この機会にご利用ください。

割引実施期間 令和7年1月6日~3月31日

対象 個人でお申込みの方

日帰りドックAコース 17.765円(通常料金 20.900円) ※税込 日帰りドックBコース 28,050円(通常料金 33,000円) ※税込

※市町村企業の補助を受けられる方は割引対象外です。 ※すでに上記期間にご予約された方にも、割引料金を適用させていただきます。

お問い合わせ先 浅ノ川総合病院 健診センター

TEL 076-252-2101(代)

病院祭レポート

9月14日(土)、5年ぶりとなる [病院祭] を開催しま した。当日は晴天に恵まれ、500名を超える来場者を 賜りました。職場体験や縁日は多くの親子連れで盛 り上がり、講演やコンサートのイベントも満員御礼。 キッチンカーや模擬店も完売の所がでるなど、大盛 況でした。ご来場された皆さん、ありがとうございま した。これからも地域の皆様と交流できるイベント を企画していきますので、どうぞご期待ください。



お知らせ

年末年始休診のお知らせ

お問い合わせ先

令和6年12月30日(月)~令和7年1月3日(金)まで、年末年始のため外来診療を休診いたします。 (救急の場合は救急外来で対応します)

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL:076-252-2101(代) URL:https://www.asanogawa-gh.or.jp/ メールアドレス:kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp



